

令和6年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立浅子小中学校		作成者	職名	教頭										
電話番号	0956(68)2052			氏名	野崎 一男										
1 年間の実施内容(取組状況・実績等)															
4月	実施テーマ	「自己を見つめ直し、職場の連帯感を高めよう」～不祥事を起こさない職場づくりに向けて～													
取組の評価・改善点 ・年度当初教職員の綱紀の保持について通知等をもとに、校長より事例等を通して指導を実施した。															
5月 11月	実施テーマ	「信頼される学校づくりをめざして」～各種行事を通しての保護者、地域との交流と連携～													
取組の評価・改善点 ・運動会や、夏の奉仕作業について、育友会との綿密な打ち合わせを行うとともに、公民館長をはじめとする地域の方との日常的な意見交換を進めることで、信頼関係を深めることができた。前期課程の奉仕作業(ビーチクリーンアップ)は、児童・職員・保育所と合同で実施した。															
1月	実施テーマ	児童生徒性暴力の防止に関する研修(動画視聴)													
取組の評価・改善点 ・本市で起こった事例を受け、臨時で校内研修(児童生徒性暴力等の防止)を実施した。その際、令和7年1月27日付の文書に添付されていた研修動画を全職員で視聴して、児童生徒性暴力の防止について見識を深めた。 ・校内に死角を作らないよう点検を実施して服務事故ゼロの環境整備を心掛ける。															
2 服務規律委員会															
委員会名	服務規律委員会														
構成員	所属内委員(13名)、外部委員(4名 役職等：育友会長・学校評議員等)														
3 年間を通しての計画の達成状況															
年間を通しての取組状況チェックリスト															
(1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号(ア～コ)で回答ください。(複数回答可)															
<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>イ</td> <td>キ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> その他(ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。)						イ	キ								
イ	キ														
(2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。 ※ 該当する項目に○を記入ください(以下同じ)。															
<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>(○) できた</td> <td>() 概ねできた</td> <td>() 少し不十分</td> <td>() できなかった</td> </tr> </table>						(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった						
(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった												
(3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。															
<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>(○) できた</td> <td>() 概ねできた</td> <td>() 少し不十分</td> <td>() できなかった</td> </tr> </table>						(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった						
(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった												
(4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。															
<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>(○) できた</td> <td>() 概ねできた</td> <td>() 不十分だった</td> <td>() 実施してない</td> </tr> </table>						(○) できた	() 概ねできた	() 不十分だった	() 実施してない						
(○) できた	() 概ねできた	() 不十分だった	() 実施してない												
資料添付				有 ・ (無)											

別表 校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）

校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。

校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。

【工夫（例）】

ア 運営の工夫

- ・管理職員の指導中心の研修から、服務規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。

イ 具体的な事例の紹介

- ・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。

ウ 外部講師を招いての講話

エ 体験的な研修

- ・ロールプレイを取り入れる。

オ グループ討議

- ・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。
- ・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。

カ ワークシートの作成

- ・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。

キ チェックリストを作成

- ・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。

ク ファイリングして保存

- ・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。

ケ 決意表明

- ・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。

コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組

- ・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。